

令和7年度ブラジル青少年派遣事業報告

香川県の若い世代に南米日系社会の歴史と現状について知ってもらい、ブラジル香川県人会と今後継続的に交流を続けていく関係を築いていただくため、令和7年10月9日(木曜日)から10月21日(火曜日)までの13日間、香川県内の大学生等4名をブラジル サンパウロ市に派遣しました。

現地では、ブラジル香川県人会の会員の皆さんとの交流、現地学生との意見交換、香川県を紹介するプレゼンテーションの実施などのほか、日系移民の歴史やブラジルの文化を学ぶ様々な活動を行いました。

参加者の皆さんには、今後も香川県とブラジルとの架け橋として、長くご活躍いただくことを期待しています。

本ページでは、活動内容の一部をご紹介します。

主な実施内容

ブラジル香川県人会との交流

10月11日(土曜日)、サンパウロ市内の南米香川県人会で、ブラジル香川県人会の皆さんと一緒に郷土料理交流を行いました。日本の料理としては、お好み焼きと白みその味噌汁を、また、ブラジルの料理としては、パステウ(生地肉やチーズなどの総菜やチョコレート、フルーツなど好きな食材を挟んで揚げたもの)を作りました。日本の料理、ブラジルの料理どちらもとてもおいしくできました。



お好み焼き調理の様子



完成したお好み焼き



パステウ調理の様子



完成したパステウ

10月15日（水曜日）にサンパウロ近郊の県人会員宅を訪問し、移住当時のお話やブラジルでの生活について伺うとともに、ご家族で経営するハイビスカス農場を見学させていただきました。

県人会員からは、ブラジルに渡る移民船内の様子やブラジルでのこれまでの歩みに関する写真を見せていただきながら、説明をいただきました。お話を伺うかぎり、移住当時の労働・生活環境は過酷だったと思われますが、「ブラジルで様々な経験をしてきたが、常に前向きに望んできたので、苦しいとは思わなかった」という力強い言葉に胸が熱くなりました。

また、ご自宅に隣接するハイビスカス農場を見学しながら、栽培方法についてお話を伺いました。農場では、今回の訪問を記念して、桜の苗木を用意していただいております、植樹を行いました。桜が大きく成長したら、香川から来た人に、「この事業の参加学生が植えた木だ」と伝えたいとコメントをいただき、ブラジル香川県人会と香川県の繋がりを大切に思っていることを大変ありがたく感じました。



花卉栽培の様子



記念撮影



桜の植樹



移住当時の様子の説明

10月18日（土曜日）に、サンパウロ近郊のイトゥ市を訪問し、同市で養鶏業を営む県人会員からブラジルでの養鶏の様子をお話しいただきました。また、イトゥ市は、信号機や公衆電話など、街中の様々なものが大きなオブジェになっている「何でも大きい街」として有名であり、オブジェの見学をしました。



記念撮影



大きな公衆電話

現地学生との交流

10月13日（月曜日）に2歳から高校生までの私立の一貫校を、10月17日（金曜日）には、サンパウロ大学、日伯文化連盟アリアンサ文化センターを訪問して、学生や教員との交流を行いました。

日本で流行しているアニメや漫画が、遅れることなくブラジルでも流行しているようで、学生同士で話が弾んでいました。また、学生や教員のお話から、生徒の自主性を重んじる点や働きながら大学に通う方が多いことなど、日本とブラジルの教育事情の違いが分かりました。



校内見学



生徒との意見交換



サンパウロ大学での交流



アリアンサ文化センターでの交流

情報発信プレゼンテーション

10月12日(日曜日)に南米香川県人会館で、香川県の祭りやセルフうどんの楽しみ方などを紹介するプレゼンテーションを行いました。

南米香川県人会館に集まった多くのブラジル香川県人会員の皆さんに、香川県の祭りや花火の様子、セルフうどんの注文の仕方を撮影した動画を交え、参加者が作成した資料を用いて説明しました。県人会の皆さんは、ブラジルでうどんを食べる機会はあるけれども、セルフうどんを体験したことがないという方が多く、興味深かったとの感想をいただきました。



プレゼンテーションの様子



プレゼンテーション（セルフうどんの紹介）

その他の訪問

10月11日(土曜日)に世界で3番目の規模を誇るサンパウロ中央卸売市場を見学しました。週末は一般客の利用が可能で、質の高い品物が安く買えることから、訪問時は多くの人で賑わっていました。

それまでブラジルに根付いていなかった野菜や花は、日系人が普及させたと言われています。市場では、ニラやシソ、ゴボウなどがポルトガル語でも同じ名前で売られており、移住された方々の貢献を感じることができました。

10月14日(火曜日)には、ブラジル最大の貿易港であるサントス港を訪問しました。サントス港は、1908年に移民船「笠戸丸」で最初の日系移民781名がブラジルに上陸した地で、以後、ブラジルに渡った日本からの移住者の多くが、ここでブラジルの第一歩を印したと言われています。

日系移民の上陸記念碑を見学したほか、ブラジルの主要作物であるコーヒーの歴史をたどれるコーヒー博物館などを訪れました。



サンパウロ中央卸売市場外観



市場内の様子



日系移民上陸記念碑



サントス港の街並み

日程表

月日	内容
10月9日(木曜日)	高松空港発
10月10日(金曜日)	東洋人街訪問 ブラジル日本移民史料館訪問
10月11日(土曜日)	ブラジル香川県人会との交流(サンパウロ中央卸売市場訪問、郷土料理交流)
10月12日(日曜日)	ブラジル香川県人会との交流(県人会イベントへの参加) 香川県プレゼンテーション実施 サンバチーム練習見学
10月13日(月曜日)	ブラジル日本商工会議所訪問 現地私立学校訪問 サンパウロ旧市街地訪問
10月14日(火曜日)	サントス港訪問
10月15日(水曜日)	エンブー市訪問 ブラジル香川県人会との交流(会員宅、農場訪問)
10月16日(木曜日)	在サンパウロ日本国総領事館訪問 サッカースタジアム見学
10月17日(金曜日)	サンパウロ大学訪問 ブタンタン毒蛇研究所訪問 日伯文化連盟アリアンサ文化センター訪問
10月18日(土曜日)	ブラジル香川県人会との交流(イトゥ市訪問)
10月19日(日曜日)	ジャパンハウス・サンパウロ館内見学 サンパウロ発
10月20日(月曜日)	
10月21日(火曜日)	高松空港着